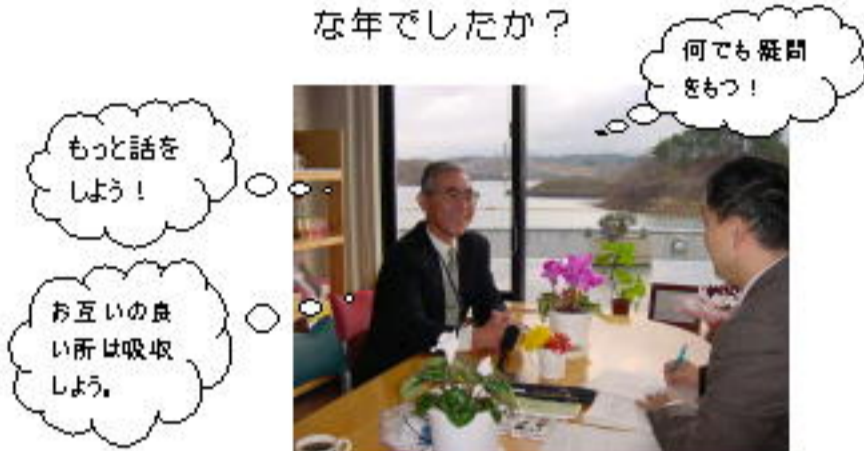




大類所長に聞いてみたい！さくら湖に関する6つの質問



編集長（以下編）：早速ですが、昨年はどういう年でしたか？



大類所長（以下大）：赴任当初考えていたことがあまり実現できなかった様な気がします。具体的には地域の人たちとの交流ができなかったということです。

編：「地域の人たちとの交流」について、具体的にはどのようにお考えですか？

大：今までは地域に対する情報発信をする場合、どちらかというと行政からの一方的な場合が多く、一般の方からの反応が返ってくるのが少なかったのですが、そのような状態を改善して皆さんから意見を伺うことができる状況を作ることです。

編：昨年の4月に赴任されてから9ヶ月になりますが、この地域の印象はどうですか？

大：「素直な人が多い」という感じがします。私のふるさと山形県尾花沢もそうですが、気持ちがまっすぐな方が多いと思います。あまり多くを語らず、闘志は内に秘めているような所も似ていますね。

編：「さくら湖管理ニュース」や「さくら湖だより」など、三春ダムに関する広報のあり方に対して何かございますか？

今年もよろしくお祈りします



大：私が日頃考えているのは、この場所を語る時に「三春ダム」というより「さくら湖」という言葉を使って紹介すべきではないかということです。「ダム」は私たち行政側の言葉であって、地域の人達が自ら名付けた「さくら湖」という名前をもっと前面に出してPRしていきたいと考えています。

編：今まで様々な部署で仕事をされていらっしゃるとは思いますが、他の部署と比較して三春ダム管理所の印象はいかがですか？

大：仕事をする上で基本的には大きな違いはありません。ただ印象的なのは、通常ダム周辺は国有林等が多いのが一般的で、国や県が自然環境保全の主体となっているのですが、三春ダムは三春町が開発行為を制限する枠組みをつくるなど、自治体が頑張っている良い地域だと思います。



編：今後三春ダム管理所をどのような場所にしたいと考えていますか？

大：地域の人達が気軽に立ち寄れる、または訪れやすい場所にしたいと考えています。地域づくり相談室の看板は出ていますが、なかなか敷居が高いようなイメージがあると思います。もっと身近な場所にできないかと思っています。例えば、資料館に訪れた方の「質問ボタン」のようなものが館内にあって、押せば職員がその質問者に即座に対応するなどのことができるようになればいいなと思います。

ハイブリッド車の導入について

昨年暮れ、当管理所にハイブリッド車が納車されました。今までディーゼル車を使っていたので、実際乗ってみるとかなり静かです。そして私は今地球に優しいのだ、もっと地球の事を考えねばという奇妙な思いも浮かんできます。

ハイブリッド車の導入をきっかけに、地球環境というものをさらに考えていく、三春ダム管理所職員一同でありました。



船引町で「地域の意見を聞く会」を開催

三春ダムの水源地域ビジョン策定のため、船引町で「地域の意見を聞く会」を開催しました。

水源地域ビジョンはダム上下流の交流により、ダム上流域が自立的・持続的に活性化を図り、バランスのとれた流域の発展を目指す行動計画です。

意見を聞く会への参加者は船引町の商工会婦人部、漁協、俳句会の代表者の方など多方面にわたる11名の方の参加で行われ、地域の水との関わり、水に関する文化・祭り・活動、地域の問題点や課題を話題に、EM菌の活用、灯籠流しなどの貴重な意見をいただくことができました。



三年間を振り返って

電気通信係 深谷 志穂

三春ダム管理所に採用され、あっ！という間の3年間でした。期間の中で総務係、水質係、電気通信係のお仕事をさせていただきました。

本当に皆様にはたくさんのご迷惑をおかけしましたが、職員・非常勤の皆様にご支えていただき、充実した日々を送ることができました。また、公私ともに仲良くしていただいた職員・非常勤の方々もおり、町営体育館でのバドミントン・親睦会など、どれもよい思い出です。



3年間大変お世話になり、本当にありがとうございました。

(左写真の中央が私)

～川をきれいにするためには～

児童図画コンクール表彰式開催

12月25日(木)に福島市ウェディングエルティで『平成15年度阿武隈川上流児童図画コンクール表彰式』が行われました。

このコンクールは「阿武隈川上流水質汚濁対策連絡協議会(以下水対協)」の事業の一環として毎年実施されているものです。

阿武隈川上流域の39市町村内の小学校から図画部門768点、ポスター部門1,575点の応募がありました。その中から各部門特選1点、金賞5点の他に銀賞、銅賞、特別賞が選ばれ、三春ダム流域内の小学校からも両部門合わせて4名が表彰されました。

受賞者には、水対協上流支局長の上坂福島河川国道事務所長より、賞状と記念品が手渡されました。



三春ダム管理所長賞・図画部門を受賞した宮川直樹君(写真左)と、ポスター部門の菅野凌君(写真右)

釜房ダムの水質保全施設を見学して

去る1月7日、釜房ダムに新たに設置される水質保全施設の見学会に参加いたしました。基幹の設備は、三春ダムでもおなじみの連続散気方式(浅層循環施設に使用しているもの)、資料としていただいた図面を見たところ、当初のものは三春ダムのものと区別がつかないほどの「瓜二つ」。しかし、湛水している状況で設置するという事から、写真のようなフロートにより垂直性を保つという最終形になったようです。(これについてはこのスペースでは書ききれないので興味のある方には別の機会にお話しいたします。)

今年度中に3機の設置を行い、来年度さらに1機の計4機を常用水質保全施設とし

て使用し、水質の問題が発生しやすい時期については、今までに使用していた揚水筒式を一部改良したものの6機を併せて起動し水質保全に心掛けて行くそうです。

終わりになりましたが、釜房ダムで水質に問題があるのは「カビ臭問題」でこの部分については三春ダムの「景観問題」と若干異なっておりました。



新しい設備の前に、担当者から説明を受けます

シリーズ 「私のふるさと紹介」

山形市は人口25万人、面積は381.34km²で、戦国大名・最上義光の時代に城下町の建設が行われ、現在の市街地の原型を形成したと言われており、江戸時代は紅花商人の町として栄え、東北の偉大な武将である伊達政宗の母親である義姫の生まれた所である。

義姫は最上義守の息女として生まれ、伊達家を苦しめたと言われる最上義光を兄にもち、出羽の鬼姫といわれた男勝りなお姫様であったとの事。その最上家が君臨していたのが、山形城(別名:霞ヶ城)である。

現在は取壊され、その姿は見ることは出来ないが、城跡として内堀のみが残されており、霞城公園として花見会場や運動公園として多くの市民に親しまれています。

そういえば、数年前に莫大な費用を投資して山形城の大手門を復元してたっけ。



復元された山形城大手門

山形市と言えば花笠まつりを想像する方もあると思いますが、元々の花笠まつりの発祥地は、大類所長の出身地である尾花沢市です。花笠まつりの期間には山形市内が大変多くの観光客で賑わいますが、見るのではなく、是

【山形県・山形市】の巻 管理係 高原 克己

非とも踊りに参加された方が良い思い出になると思います。また平成元年から毎年9月の第1日曜日に、山形市内の馬見ヶ崎川の河川敷で開催されている「日本一の芋煮会フェスティバル」は盛観である。何がすごいか、直径6mの巨大な鍋を使い、水:6t、里芋:3t、牛肉:1.2t、こんにゃく:3,500枚、ネギ:3,500本、醤油:700cc、砂糖:200kg、隠し味として日本酒:50升を6t薪で煮炊きして、3万食分の芋煮が作られます。おいしさもスケールもまさに「日本一」なので、是非皆さんも御賞味あれ。



日本一の芋煮会の様子

他にも、山形蔵王の樹氷・陶芸の出来る平清水焼き・おいしい蕎麦・市のシンボルである霞城セントラル・国内最高気温記録40.8℃等が挙げられる。近隣には、CMで有名になった银山温泉・上山温泉・将棋の駒の天童や山寺等の観光地も沢山あり、昔と違い交通手段が飛躍的に発達しておりますので、是非とも足を運んでみて下さい。



管理所員の2004年の抱負は？

- ・3年前のウエストに戻す（禁暴食）
（水質係・佐々木）
- ・目指せ気象予報士
（水質係・齋藤）
- ・文化的な営みを意識的にしていきたいです。
（電通係・榎本）
- ・よい仕事をして、よい奥様になります。
（水質係・橋本）
- ・2004年も精一杯生きていきます。
（管理係・高原）
- ・自己管理に徹し安全運転を心がける。
（運転員・大和田）
- ・今年こそムダ使いしないようにします。
（電通係・深谷）
- ・賢い猿のように、トス回しも良く仕事にスポーツに充実な一年にしたいです。（管理係・佐藤正一）
- ・①今年こそ-5kg ②規則正しい生活
（管理係・菅野）
- ・ゆとりある運転で無事故、無違反に心がける。
（運転員・吉川）
- ・地域の人々と交流を深めること。（大類所長）
- ・サービス精神
（総務係・高階）
- ・山登りをして自然の美しさに触れたいと思います。
（庁務員・滝波）
- ・時間にゆとりを持って過ごせる一年にしたい。
（電通係・西間木）
- ・健康管理に気をつける。
（管理係・菅原）
- ・昨年は自己啓発に取り組めなかったため、今年は空いた時間で勉強して資格を取得したい。
（電通係・西村）
- ・昨年以上に体力の低下を防ぐべく、スポーツに励みたいと思います。
（総務係・渡辺）
- ・ダム勤務も5年余り。今年も頑張ります。
（情報連絡員・村田）
- ・今年もしっかり頑張ります！（情報連絡員・遠藤）
- ・「初夢の 今年こそはで 目が覚める」
（情報連絡員・上石）
- ・健康管理に気を付ける。
（電通係・赤石）
- ・一に健康、二にスポーツ、三はタバコをやめたから太ってきたので肥満に注意！（管理係・戸村）
- ・むだ使いをしない。
（総務係・柳内）
- ・心にゆとりを持って、1年間公私に過ごす。
（管理係・佐藤忠彦）

ダム資料館からのお知らせ

1月5日（月）から、三春町（清水）の柳沼晴二氏による三春ダム水没地帯の写真展「追憶の溪流」を開催しています。

2月からは「阿武隈川上流児童図画コンクール入賞作品展」を開催します。なお、俳句展の開催へ向けて、まだまだ俳句・短歌を募集しています。メールや郵送などでも受け付けておりますので、奮ってご参加下さい。



自然観察会・ついでからのお知らせ

1月17日（土）、23日（金） 星を見る会

“土星と冬の星雲星団の観察を行います”

1月18日（金） 巣箱をつくらう

“春の子育てのための素敵な巣箱を作って

小鳥たちへプレゼントしてみませんか？”

今年も色々な教室を予定しています。

お気軽にお問い合わせ下さい。

(TEL 0247-61-1546)

編集後記

明けましておめでとうございます。私の家では年末におせちを作り、お餅をついて（丸めて）、お正月は着物で初売りというのが恒例です。母は仕事の傍ら黒豆を煮て、父が大掃除をします。3年位前までは元旦に白と杵で餅つき大会をしていました。今年は父が初売りでハンディカラオケを購入し、カラオケ大会をやりました。家族で迎える毎年変わらぬ風景に、しみじみと幸せを感じたお正月でした。皆さんのお正月の過ごし方は？（橋本）

編集・発行

国土交通省

東北地方整備局

三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を

お待ちしております。

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字

西方字中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>